



# 企業間取引将来ビジョン検討会 第二回提出資料

キャディ株式会社  
代表取締役 加藤勇志郎



はじめに

# 会社概要

社名	キャディ株式会社 / CADDi,Inc.
代表取締役	加藤 勇志郎
資本金	1億円（資本準備金含み、99.3億円）
従業員数	567名（2022年10月時点）
東京本社	東京都台東区蔵前1-4-1
関東物流品質拠点	千葉県船橋市浜町2-5-7 MFLP船橋I
関西支社	大阪府大阪市港区福崎3-148
他物流品質拠点	福岡支店、山梨支店、岐阜支店
グローバル拠点	CADDi VIETNAM COMPANY ltd. CADDI (THAILAND) Co., Ltd.
許認可	ISO9001 : 2015 取得

## 創業メンバー紹介



代表取締役  
加藤 勇志郎

東京大学卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーへ入社。同社シニアマネージャーとして、グローバルな領域で装置・機械、重工業、輸送機器等、多品種少量業界の大手メーカーに対して、購買・調達改革を支援。2017年11月にキャディ株式会社を創業



最高技術責任者  
小橋 昭文

スタンフォード大学・大学院にて電子工学を専攻。ロッキード・マーティン米国本社で勤務し、衛星の大量画像データ処理システムを構築。その後、Apple米国本社にて、iPhone・Airpods等の製品開発や中国工場監査までをリード。2017年にキャディ株式会社を共同創業

# 2つの事業で製造業のサプライチェーン変革を支援

サプライチェーンにまつわる上流・下流のデータを相互に補完し合う



## CADDi MANUFACTURING

調達・製造の  
ワンストップパートナー

- ・ 調達生産機能の外部集約化
- ・ QCD担保・納品責任を負う
- ・ 自らIntelligentなサプライチェーンを構築・運用



## CADDi DRAWER

サプライチェーン全体を  
アセット化

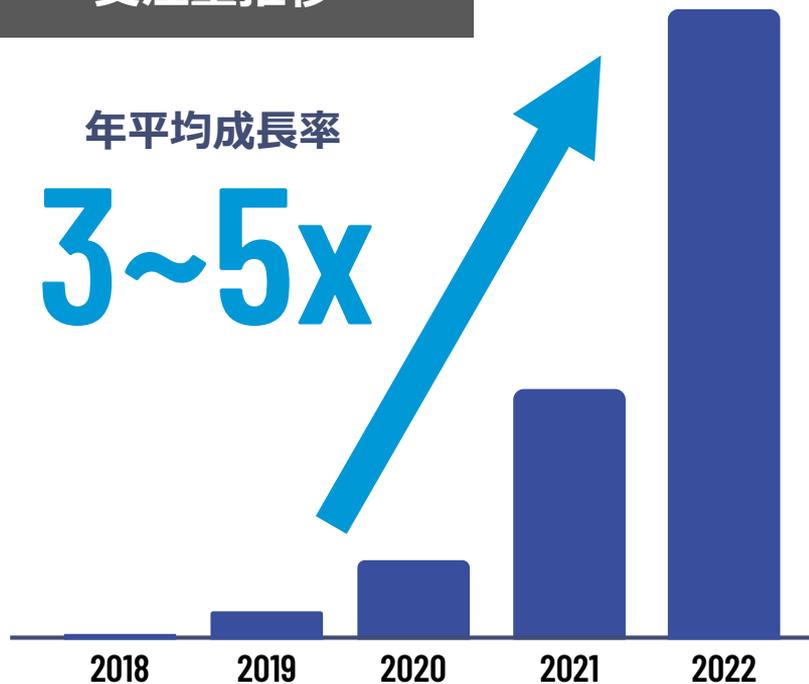
- ・ 最重要データの「図面」から資産化支援
- ・ 利用データに基づく価値の継続向上

# 成長推移

## 受注量推移

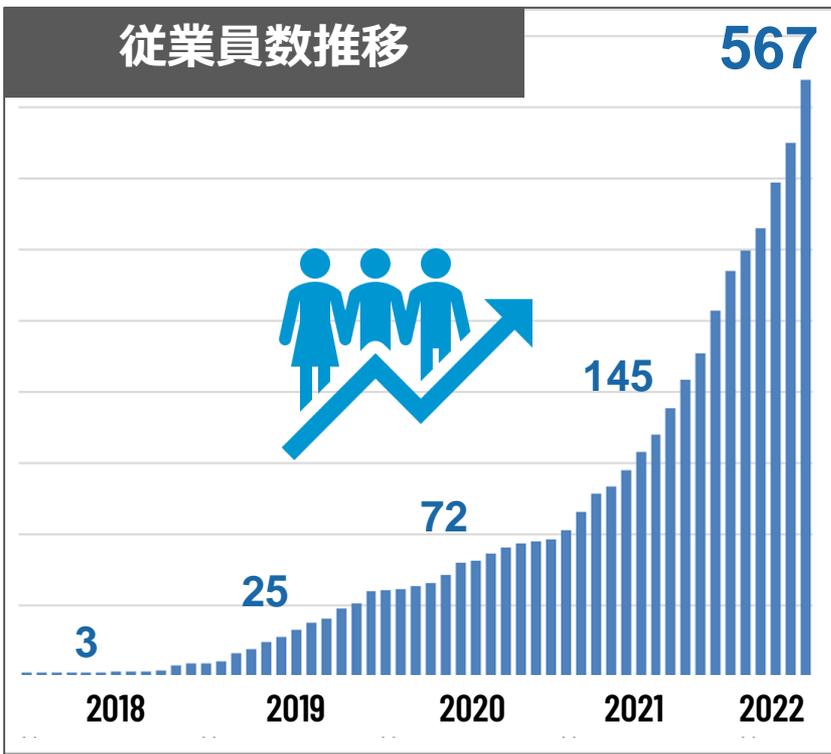
年平均成長率

3~5x



## 従業員数推移

567

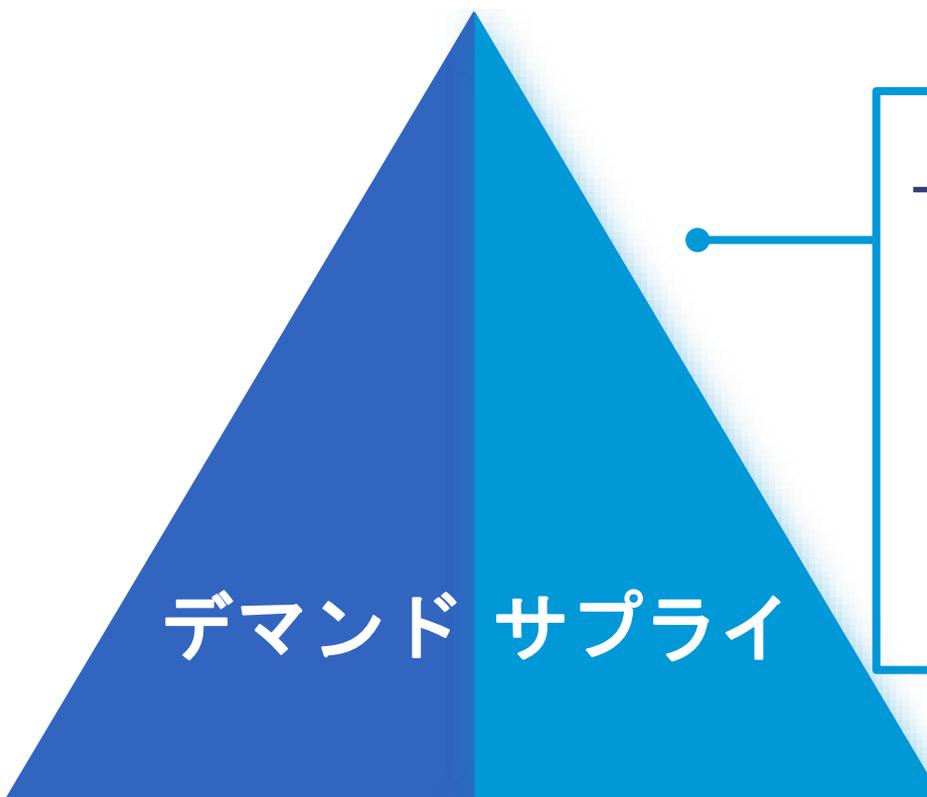




# 製造業への課題意識

## サプライチェーンの重要性

製造業においてサプライチェーンは売上の8割を占め、モノの製造自体が価値の源泉であるため最重要。昨今の地政学リスク等により分断等の問題が深刻化している。



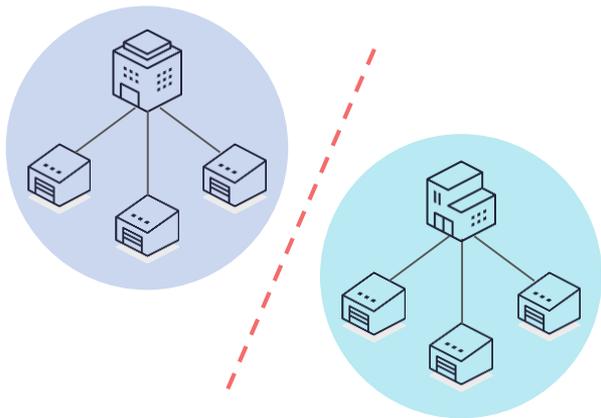
デマンド サプライ

サプライチェーン：

- ・ 売上の**80**%のコスト
- ・ **QCD**価値の源泉

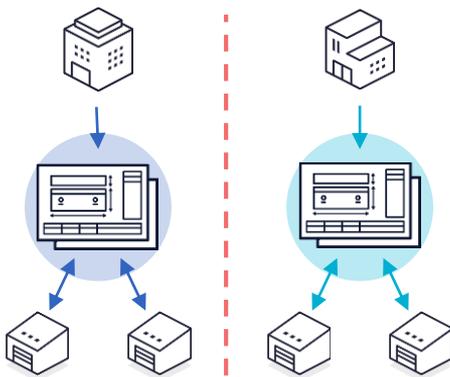
# 課題1: 製造イノベーションの欠如

## 分散した少量個別取引の集合



固定化・閉じた関係性の中で  
磨き込み

## 暗黙知依存の取引の積み重ね



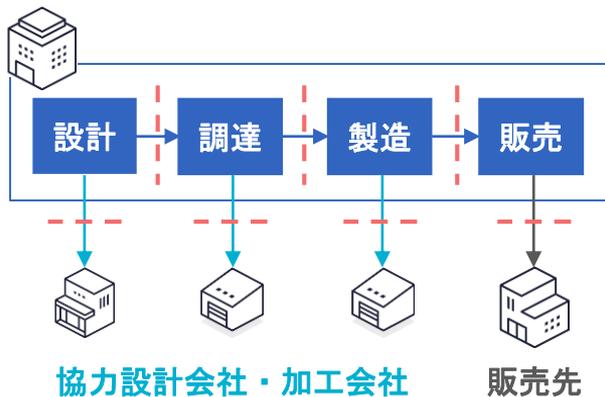
加工会社がそれぞれ  
「よしな」に解釈し、個別  
部品の改善を繰り返す

## 個別最適化

- 特定の顧客×特定の加工会社に閉じた最適化
- 条件変更があれば、ゼロからすり合わせ
- 産業全体の生産性は上がらず、変化への対応に弱い

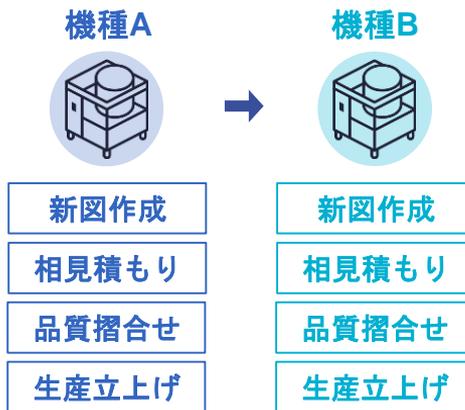
# 課題2：サプライチェーンデータアセットの欠如

## データのサイロ化



各自バラバラにデータ管理  
他の人が何を持っているか  
知らない

## 同じ作業の繰返し



既存・類似のデータが活用  
されず、機種ごとに毎回同  
様のことを行う

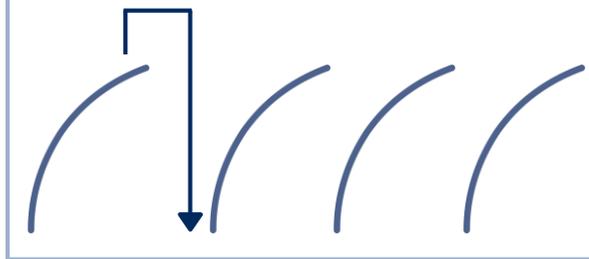
## データの埋没

- データにアクセスしづらい・活用されていない
- 結果、複利の成長を生み出せていない、同じことを繰り返す必要

## 課題2：サプライチェーンデータアセットの欠如

### アセット化されていない

一から同じ作業の  
繰り返し



- 1品1様の設計・大量の新図
- 都度の相見積・価格交渉
- その場その場のトラブル対応

### アセット化されている

前のアセット  
を次に活かす



- 流用設計・標準化
- 過去類似品価格の自動参照
- 品質データの設計フィードバック

# 製造業のサプライチェーンのあるべき姿

今後、サプライチェーン上の様々な規格の標準化、集約と分配による需給等の平準化・最適配分、DXを進め、産業全体の生産性向上・成長を実現したい

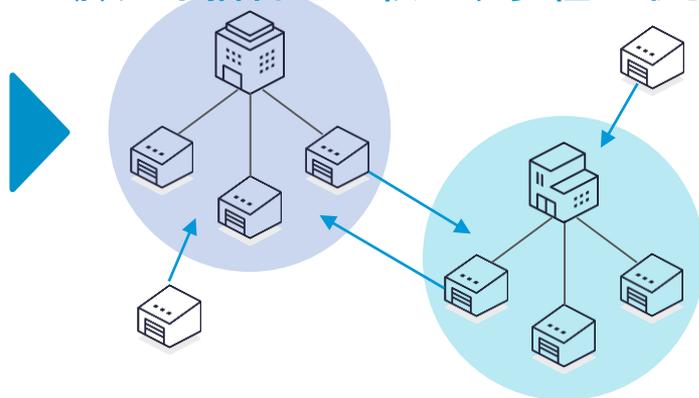
標準化

集約&分配

デジタル化

製造イノベーション

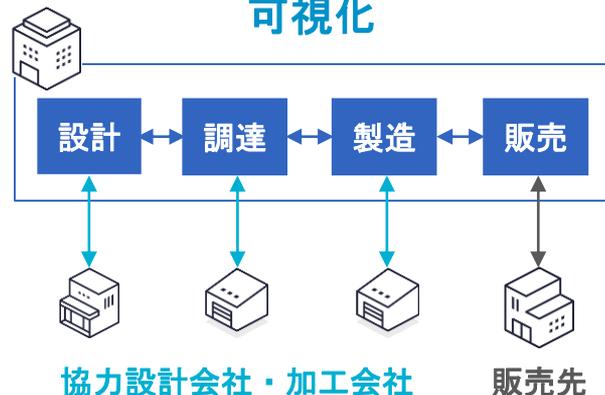
共通の基準・規格に則って  
膨大な組み合わせに頼らず多種の取引



工法の汎用化・進化、産業  
全体の生産性の継続的な向上

サプライチェーンデータ  
アセット化

データが一気通貫で繋がり  
可視化



情報資産を活用して  
フィードバックを回し、  
活動を複利で進化

# 製造業サプライチェーン改革のあるべき姿

具体的な標準化、集約&分配、デジタル化の対象になる規格やオペレーションは下記のとおり。実現できればQCD向上やスケール、無駄なコストの削減につながる

## サプライチェーン改革

標準化	図面標準化	品質規格化	...
	最適工法定義	物流規格化	
集約&分配	需給平準化	類似集約化	...
	最適量配分	国際間マッチ	
デジタル化	図面情報抽出	生産計画作成	...
	選定自動化	最適加工情報	



## 最適化

QCD向上
製造スケラビリティ向上
取引コスト

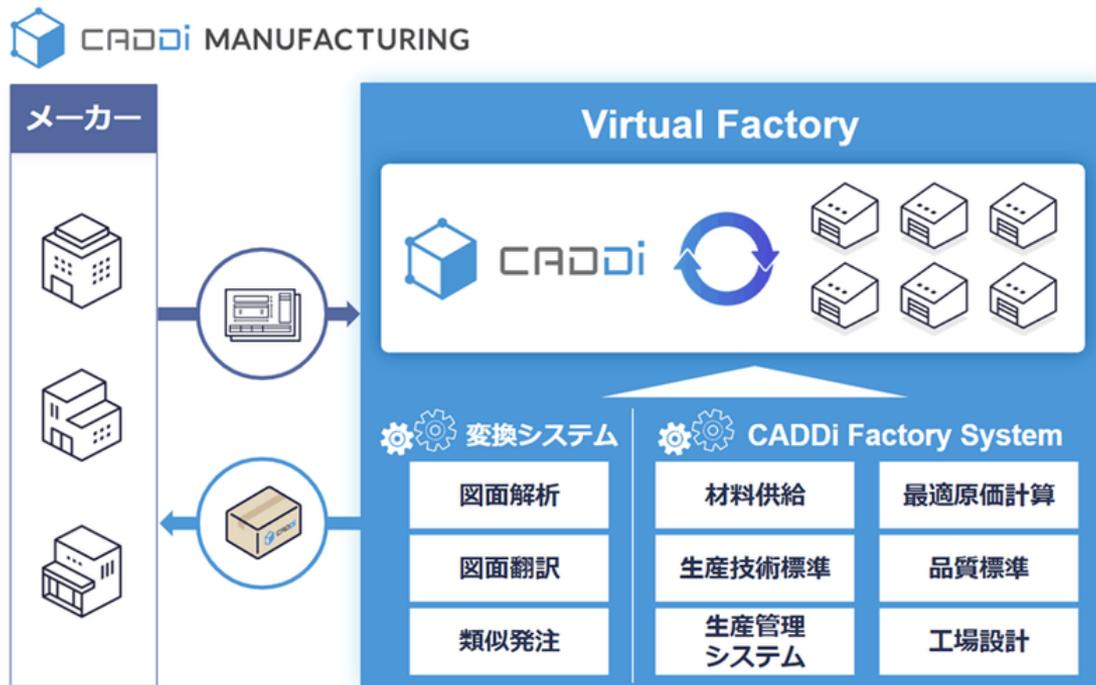


# 解決事例

当社の事例より

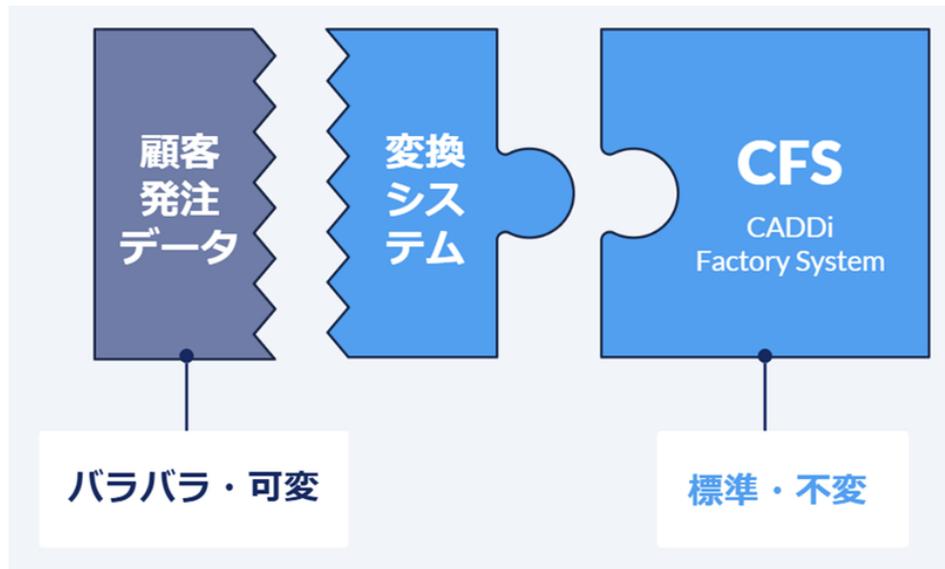
# 製造イノベーションの創出『CADDi MANUFACTURING』

メーカーの製造・調達をワンストップで支援するサービス。メーカー個別の規格を翻訳したうえで、最適な加工会社に発注、検品・品質保証する。メーカーへのフィードバック、加工会社には生産改善等が入りこみサプライチェーンの変革を推進する。



# 『CADDi MANUFACTURING』を支えるシステム

各企業・加工会社の立場から導入インセンティブが得られるような設計にすることが肝要。受注・発注、双方の最適な取り合わせおよび生産性増に資するシステム『CADDi Factory System』を内製。顧客ごとにバラバラな規格を読み解き、標準化する。



## CADDi Factory System

- 顧客の依頼（=何千枚もの図面）を加工会社に最適発注し、QCD担保するシステム
- 産業の不を解決し、製造機能のスケールを可能に

# デジタルプロダクトを内製

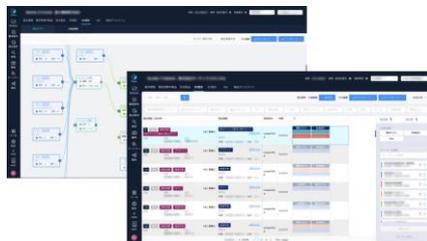
製造業のサプライチェーン上の問題、自社内およびサプライヤー等との取引コストの解消に向けて、図面の解析・翻訳、原価計算、各所のオペレーション管理等をデジタル化。産業のドメイン理解の深さと、最先端のテクノロジーを融合する組織が下支えする。

## 初期開発

原価計算  
Costing



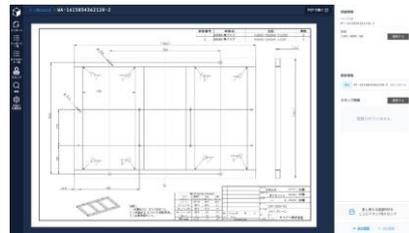
サプライチェーン  
管理



## 拡充・高度化

図面解析

図面翻訳



最適発注

受発注管理

検査管理

在庫/物流管理

# サプライチェーンデータアセット化『CADDi DRAWER』

製造業の最重要知財であり、サプライチェーンを横断して使われる図面から、データのアセット化を開始。図面をデータとして有効活用できるソフトウェアを提供し、業務の標準化や属人化課題の解決を目指す。

